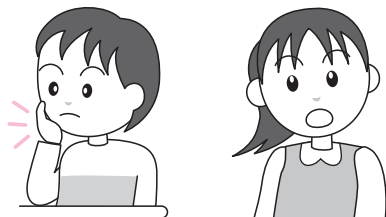


歯並びやかみ合わせに影響する癖

普段何気なくしていることでも、長い間続けていると、歯並びやかみ合わせに影響することがあります。

- 指しゃぶり、おしゃぶり、爪かみ
- 頬づえをつく癖
- 口で息をする(口がいつもあいている)
- 唇や舌をかむ癖
- 片方の顎ばかりでかむ癖



歯並びやかみ合わせを治す矯正歯科治療とは

不ぞろいな歯並びやバランスの悪いかみ合わせをきれいな歯並びや正しいかみ合わせにする治療です。矯正装置を装着し歯や顎を動かす方法や、成長期に顎の成長を促したり抑えたりする方法、外科的に顎の骨を調整する方法などがあります。



歯並びが気になったら

- 矯正歯科治療が必要かどうか、また治療を開始する時期などはお口の状態によって違います。場合によっては早期の治療が有効なこともあります。歯並びが気になったら早めに専門の歯科医院で相談しましょう。
- 日頃から定期健診を受け、歯並び・かみ合わせもチェックしてもらいましょう。
- 大人になってからの矯正歯科治療も可能です。気になる場合は専門の歯科医院で相談しましょう。

🦷 よい歯シリーズ

歯並び・かみ合わせ編

- 正常咬合と不正咬合
- 不正咬合による影響
- 歯並びやかみ合わせの分類
- 歯並びやかみ合わせに影響する癖
- 歯並びやかみ合わせを治す矯正歯科治療とは

LION

公益財団法人
ライオン 歯科衛生研究所

お問い合わせ 本部 / 〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7

TEL03-3626-6490 FAX03-3626-4182

ホームページ: <https://www.lion-dent-health.or.jp/>

歯並びやかみ合わせは、美しい笑顔、楽しい会話、全身の健康に関係します。

正常咬合と不正咬合

正常咬合とは、歯並びに凸凹やすき間がなく、上下の歯がしっかりかみ合っている状態をいいます。

反対に歯並びが不ぞろいだったり、上下の歯がかみ合わない状態を不正咬合といい、食べ物がよくかめない、しゃべりにくいなどの機能的な問題から審美的な問題まで、様々な不具合が生じます。

不正咬合による影響

「食べる」「話す」などに不具合を感じていなくても、不正咬合をそのままにすると様々な影響が起こると考えられます。

- 顎の正常な成長・発育がさまたげられる
- むし歯や歯周病になりやすくなる
- 歯並びやかみ合わせがさらに悪くなる
- 硬い食べ物などが食べにくくなる
- 発音が不明瞭になる
- 顎関節症*の原因になる など

*顎関節症とは一般に、顎の運動の障害、顎を動かした時の痛みや雑音が起こる症状。



歯並びやかみ合わせの分類

せいじょうこうごう 正常咬合	分類	主な不正咬合の種類				
		そうせい 叢生(乱ぐい歯)	八重歯	かいこう 開咬	じょうかくぜんとつ 上顎前突(出っ歯)	かがくぜんとつ 下顎前突(反対咬合・受け口)
	症例					
<状態> ● 凸凹やすき間がなく、歯がきちんと並んでいる ● かみ合わせたときに、上の歯並びが下の歯並びの外側に適度にかぶさっている ● 前歯や奥歯できちんとかめている ● 発音などの機能に問題がない など	状態	● 歯がねじれたように生えたり、重なりあって生えている	● 上の犬歯(糸切り歯)が歯並びからはみ出して生えている	● 奥歯をかみ合わせたときに前歯にすき間ができる	● 上の前歯が強く前に傾斜していたり、上の歯並び全体が前に出ている	● 下の前歯が強く前に傾斜していたり、下の歯並び全体が前に出ている
	主な原因	● 顎の大きさと歯の大きさの不調和(歯の大きさに比べて顎の大きさが小さく、歯が生えるスペースが足りない)		● 長期の指しゃぶり、おしゃぶり ● 舌を出したり、舌をかむ癖 ● 口呼吸 ● 顔の骨格の問題(遺伝)	● 遺伝によるもの ● 上下の顎の発育バランスが悪い(上顎が大きい・下顎が小さい) ● 下唇をかむ癖	● 遺伝によるもの ● 上下の顎の発育バランスが悪い(上顎が小さい・下顎が大きい)
	影響	● プラーク(歯垢)がたまりやすい ● 歯みがきがむずかしいため、みがき残しが生じやすく、むし歯・歯周病になりやすい		● 前歯で食べ物が上手に食べにくくなる ● 発音が不明瞭になる ● 前歯でかめないため、奥歯の負担が大きくなる	● 前歯で食べ物が食べにくくなる ● 発音が不明瞭になる ● 歯に外傷を受けやすい	● 前歯で食べ物が食べにくくなる ● 発音が不明瞭になる ● 顎関節症の原因になる